

神埼市民の健康を願って・・・

神埼桑菱茶の販売が始まります！

◎問い合わせ (開発に関すること) 政策推進室 政策推進係 ☎37-0153
(販売に関すること) 商工観光課 商工観光係 ☎37-0107

神埼市総合計画に掲げる「“幸せ” 感じる暮らしやすいまちづくり」の基本理念に基づいた、生活習慣病の改善に寄与することを目的に、神埼市産100%の桑の葉と菱の外皮を調合した「神埼桑菱茶」を開発しました。

10月から販売が始まります。多くの皆さまに飲用していただき、皆さまの健康増進の一助になることを願っています。

桑の葉



桑の葉には、糖の吸収を抑制する特有成分が豊富に含まれていることが、さまざまな研究機関において発表されており、生活習慣病の改善に効果が期待されています。



菱の外皮



菱の外皮にはポリフェノールが多く含まれており、高い抗酸化作用が認められることが、神埼市と西九州大学の共同研究において分かりました。生活習慣病の改善に効果が期待されるため、神埼市と西九州大学の共同による特許登録を平成27年11月6日に取得しています。



くわ びし ちゃ

神埼桑菱茶



分包袋

神埼桑菱茶パッケージ

○価格 1箱1,620円 ※神埼市民の皆さまは半額の810円で購入できます！詳しくは次ページをご覧ください。

○内容量 90g (3g×30包入、粉末タイプ)

○召し上がり方 1日1～2包を約100ml程度の水、ぬるま湯または、牛乳等によく溶かしてお召し上がりください。

市民モニター調査結果

神埼桑菱茶試供品のモニター調査を令和元年12月から3カ月間、市民100人に実施し、80人のモニターの皆さまからアンケートに回答をいただきました。ありがとうございました。その声を紹介します。（重複回答あり、一部抜粋）※飲用されたモニター個人の意見です。

効果検証		
便通改善	血糖値改善	体調改善
22	14	19

- ・毎朝の便通が良くなり、血圧が安定しました。（70代女性）
- ・便通がよくなりました。5割から9割の確率です。風邪もひかず元気に過ごせました。（50代女性）
- ・身体が楽になった。（60代女性）
- ・ヘモグロビンA1cの数値が7.0以上あったが、6.6まで下がった。（60代男性）
- ・血糖値が低下しました。（70代女性）
- ・ヘモグロビンA1cの数値が8.1から7.8へ低下、体重も78kgから76kgへ減少。（60代男性）
- ・以前青汁を飲んだことがあります、それより飲みやすく美味しかったです。（60代女性）
- ・これまで薬を飲んでも下がらなかったLDLコレステロールが131から122に改善。（70代女性）
- ・血糖値はほとんど変わらなかったが、医者が悪くなっていないのが効果では！と。（60代男性）
- ・整腸作用があり下痢をしなくなった。非常に飲みやすく、牛乳に溶かしてもおいしい。（60代男性）
- ・ヘモグロビンA1cが8.0あったのが、7.1に下がった。医者がびっくりです。（60代男性）
- ・血糖値が低下しました。体調も良くなり、便通もよくなりました。（50代男性）
- ・現在糖尿病で治療中。飲み始めて、ヘモグロビンA1c値が6.2～6.3で安定している。（60代男性）

神埼市民限定！半額で購入できます！

神埼市民の皆さまが「神埼桑菱茶」を購入する場合、購入申込書を販売店に持参すると、1箱1,620円のところ半額の810円で購入できます。販売店と購入申込書は後日全戸配布でお知らせします。

皆さまの生活習慣病の改善を願って作られた「神埼桑菱茶」をぜひ試飲し、健康で“幸せ”感じる毎日を過ごしていただけることを願っています。



“桑菱茶”誕生までの経過

- 令和元年7月26日 神埼和桑部会設立
- 7月27日 神崎市和桑部会員および神崎市職員による桑の葉摘み（1回目、参加者約60人）
- 9月14日 神崎市和桑部会員および神崎市職員による桑の葉摘み（2回目、参加者約50人）
- 10月28日 「神埼桑菱茶」試供品製造完了
- 11月27日 「神埼桑菱茶」試供品完成発表
- 12月18日 「神埼桑菱茶」市民モニターへ配布（約100人、3カ月分）
- 令和2年3月29日 桑の葉増産に向け、尾崎東分地区内に桑苗木植栽
- 6月5日 和桑部会員による桑の葉摘み（1回目）
- 6月22日～ 商品化（販売）に向けたパッケージ打ち合わせ
- 7月2日 和桑部会員による桑の葉摘み（2回目）
- 7月29日 和桑部会員による桑の葉摘み（3回目）、苗木の挿し木
- 8月20日 和桑部会員による桑の葉摘み（4回目）
- 9月下旬 「神埼桑菱茶」商品完成



新庁舎の完成・落成を迎えて

先月22日の新庁舎落成式は、無事に終了することができました。山口祥義佐賀県知事をはじめ多くの来賓をお迎えして、と言いたいところですが、来賓を絞つての小規模式典となりました。市民の方からは、「市長は年次に広く市民の皆さま共々、神埼市の新たな門出となる契機には喜びをみんなで共有したい」と言つていたとご指摘を受けました。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を思うとき、小規模での式典開催を決定させていただきまし

た。ご容赦をお願いします。旧神埼町庁舎は、昭和46年建設完成以来49年が経過しており、老朽化、狭隘化、耐震性における不安および今日当然と思われるユニバーサルデザインにおいては程遠く、多くの方に不安とご心配をおかけしてまいりました。

新しい神埼市の合併誕生に伴い、多くの市民の夢と期待に応えるべき行政拠点の建設は悲願でありましたので、市民の幸せを実現するに相応しい新庁舎ができたことは、私自身、喜びとともに誇りであります。新庁舎建設に当たり心掛けたことは、災害発生が頻発化すること、防災拠点となる頑強な造りと利便性の高い構造としました。なお、県内市町では初めての地中熱を利用した空調を導入しています。これらは、自慢できるものと自負しています。が、一方で、今後の市政運営への取り組みに対する責任の重さを再認識しているところです。第2次総合計画にあります『幸せつなごう かんざき〜みんなを支え合い、誇りと笑顔あふれるまちを目指して〜』の実現に向かう決意を新たにしております。

また、佐賀県をはじめ佐賀県農業協同組合、神埼建設業協会および近隣住民の方々のご理解ご協力によって、市役所、公民館、図書館、保健センター、情報館、図書館、保健センター、情報館、体育館などの公共施設を一カ所にまとめることができました。これらの公共施設が相互連携した利用と活用が図れることから、市民の利便性は数段に向上すると期待しています。これも多くの皆さまに感謝であります。心からお礼を申し上げます。

これからは多くの市民の皆さまが、新庁舎および周辺施設を有効に活用され利便性の良さを体感していただきたいと思います。

私自身、昭和46年に職員として現在の神埼郵便局にあつた以前の神埼町庁舎から櫛田宮横の旧神埼町庁舎に移動し、さらに今回市長として、新庁舎に移動するという2度の庁舎移転を体験しました。色々な思い出もよみがえり、何か奇遇な縁を覚えたりなりません。

いずれにいたしましても、職員とともに心機一転、市民協働の精神の下、神埼市がますます発展するように努めてまいりますので、皆様のご支援ご協力をお願いします。

神埼市長 松本 茂幸



神埼市役所本庁舎 (令和2年～)



旧神埼町役場、神埼市役所本庁舎 (昭和46年～令和2年)



旧神埼町役場 (大正5年～昭和46年)

市長交際費の公表 (令和2年8月分)

項目	件数	支出額 (円)
弔慰	0	0
御祝	2	6,000
激励	1	3,000
会費	0	0
見舞い	0	0
その他	0	0
計	3	9,000

夜の市長室

どんなことでも構いません。皆さまの声をお聞かせください!

○今後の予定

とき	ところ
10月6日(火)	脊振支所
11月10日(火)	神埼市役所

18:00～20:00 (1組30分程度) 当日は来庁順です。

◎問い合わせ 総務課 秘書広報係 ☎37-0088

9月の千代田支所開催分には、4組4人が来庁されました。

※お住まいの地区に関係なくお越しいただけます。

※荒天などの場合は、開催の有無をお問い合わせください。